

お読み替えガイド

(形名 PCF-AR732B 用)

HITACHI
Inspire the Next

■ 主な内容 (詳しくは本書をご覧ください)

- CPU : 変更されています。
- HDD 容量 : 約 250GB に変更されています。
- テレビチューナーボード : 地上デジタルテレビチューナーボードは、搭載されていません。
- ディスプレイ : 変更されています。

Prius Air N

マニュアルはよく読み、保管してください。

■ 製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

■ このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

はじめに

このたびは日立のシステム装置（以下、パソコン）をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

このパソコンは、Prius Air N(形名 PCF-AR37N) をベースに仕様を変更したオリジナルモデル(形名 PCF-AR732B) です。

本書では、添付のマニュアルの内容と異なる部分について説明します。

異なる内容

このパソコンは、ベースのモデルと比べて次の点が異なります。

- ・ CPU が、インテル® Celeron® D プロセッサ 346 から、インテル® HT Pentium®4 プロセッサ 531 に変更されています。
- ・ HDD 容量が、約 320GB から約 250GB に変更されています。
- ・ 地上デジタルテレビチューナーボードが搭載されておりません。
- ・ 同梱品が、一部変更されています。
- ・ ディスプレイが変更されています。そのため、パソコンとの接続方法が変更されています。
- ・ パソコン背面、コネクターの仕様が一部変更されています。

添付のマニュアルなどで形名が PCF-AR37N と記載されている箇所は、すべて PCF-AR732B にお読み替えください。

お読み替えいただくときは、添付のマニュアルとあわせてご使用ください。

■ 『準備しよう！ Prius』

- ・ 「1 章 パソコンを使えるようにしよう」、「同梱品チェックリストで確認しよう」
本書「同梱品を確かめよう」の「同梱品チェックリストで確認しよう」に読み替えてください。
- ・ 本モデルには、次のものが添付されておりません。
 - ・ D 端子ケーブル
 - ・ 分配器
 - ・ B-CAS カード
- ・ 本モデルに同梱されるディスプレイは変更されています。
本書「ディスプレイについて」をご参照ください。
- ・ 本モデルでは、パソコン背面、コネクターの仕様が変更されています。
本書「各部の名前を知っておこう」、「光デジタルオーディオ機器を接続する」、「パソコン背面」をご参照ください。

■ 『プリウスナビを楽しもう！』

- ・ 「1 章 準備しよう」、「テレビを見るための準備」、「パソコンにアンテナ線を接続する」
本書「パソコンにアンテナ線を接続する」をご参照ください。

■ 『パソコン応用』（電子マニュアルのみ、紙のマニュアルは添付されません。）

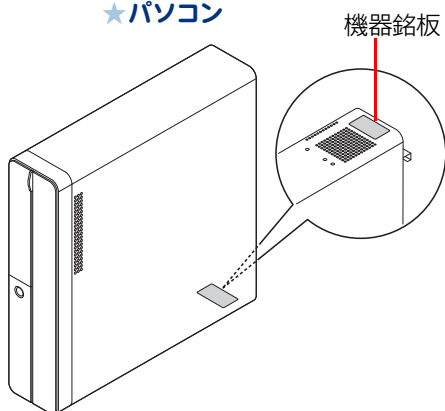
- ・ 「3 章 パソコンを拡張する」、「光デジタルオーディオ機器を接続する」
本書「光デジタルオーディオ機器を接続する」に読み替えてください。
- ・ 「7 章 技術情報」、「パソコン仕様一覧」
本書「パソコン仕様一覧」に読み替えてください。

同梱品を確かめよう

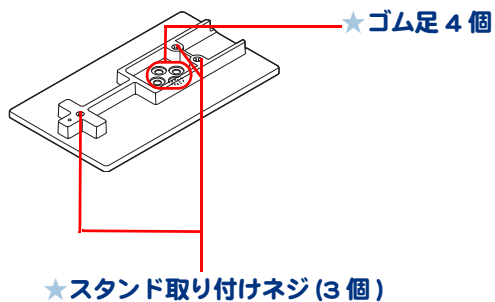
次のものが同梱されています。

同梱品チェックリストで確認しよう

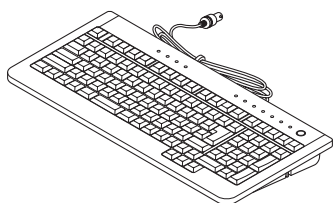
★パソコン



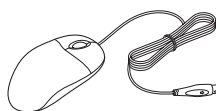
★パソコンスタンド



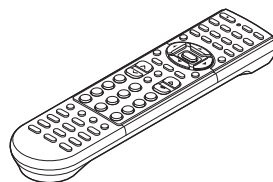
★キーボード



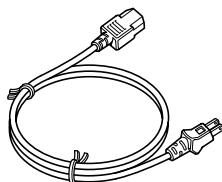
★マウス



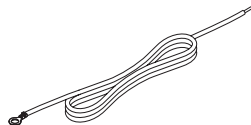
★パソコン用リモコン



★電源コード (パソコン用)



★アース線



※ヒント

- パソコンの形名を確認するには
機器銘板に形名や製造番号が記載されています。
機器銘板の取り付け位置は、変更される場合があります。ご了承ください。
- パソコンスタンドには、横置き用のゴム足が収納されています。また、スタンド取り付けネジは、あらかじめ実装されています。

ディスプレイについて

本モデルに同梱されるディスプレイは、パソコンのマニュアルに記載のディスプレイとは異なります。

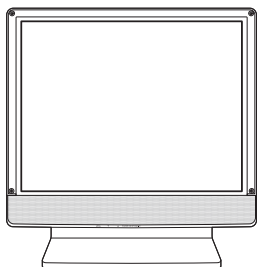
詳しくは、本モデルに付属されるディスプレイの「取扱説明書」をご参照ください。

工場出荷時の画面解像度の標準値は、次の通りです。画面の解像度を設定する場合、次の値を参考にしてください。

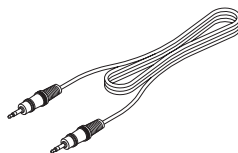
画面の領域 : 1280 × 1024
色 : 最高 (32 ビット)
フォントサイズ : 標準

液晶ディスプレイの箱には

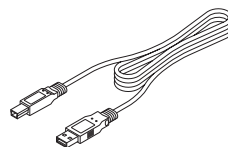
★ 17 型液晶ディスプレイ



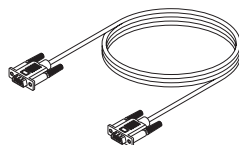
★ オーディオケーブル



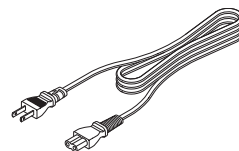
★ USB ケーブル



★ D-Sub ケーブル



★ ディスプレイ電源コード



ヒント

● D-sub ケーブル

パソコンと液晶ディスプレイを接続するときに使用します。

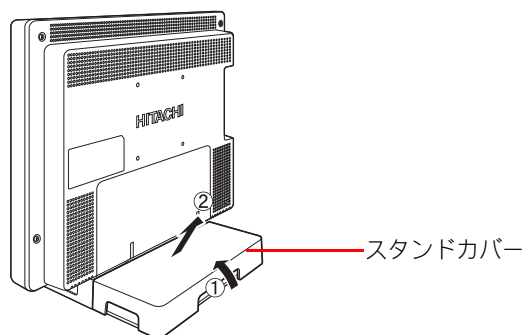
接続しよう

パソコンの置き場所を決めてから、接続しましょう。

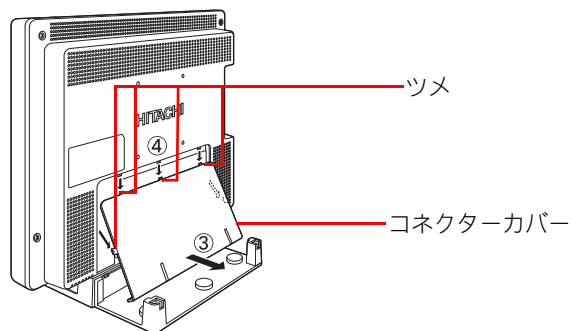
パソコンを接続しよう

さっそく接続してみましょう。

- 1 スタンドカバーを矢印方向(①)に引き上げる。
- 2 スタンドカバーを矢印方向(②)に持ち上げて取り外す。

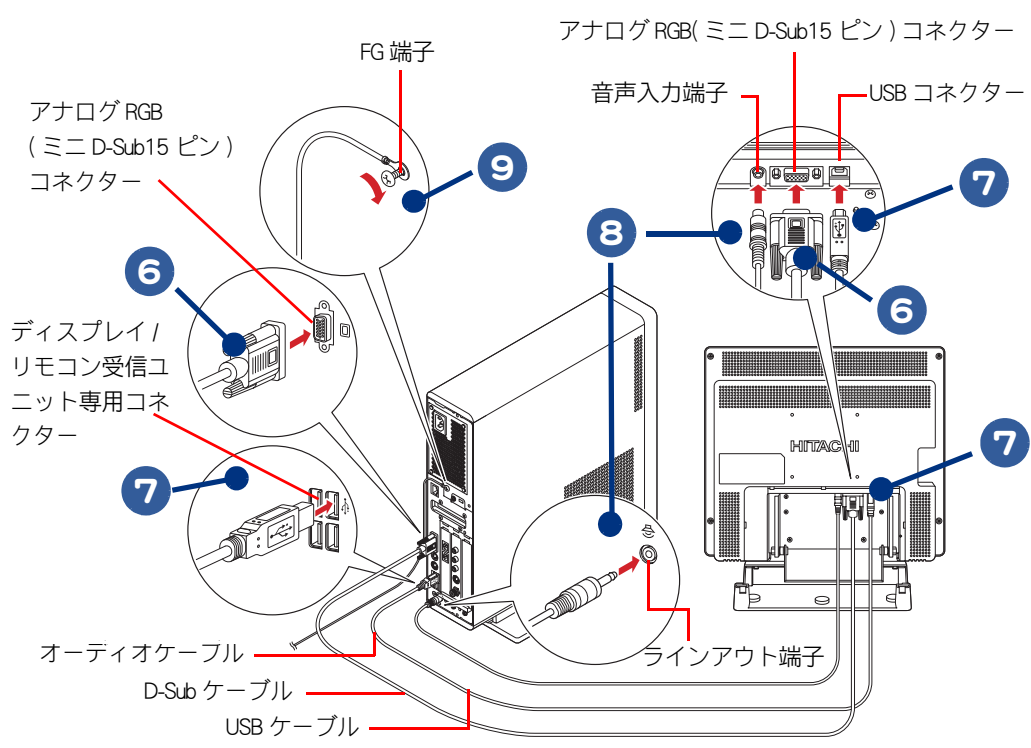


- 3 コネクターカバーを矢印方向(③)に引き出す。
- 4 コネクターカバーを矢印方向(④)に引き下げて取り外す。



※ヒント ● スタンドカバー、コネクターカバーを取り付ける場合は、ツメに注意して取り付けてください。

- 5 D-Sub ケーブルの接続は、上下の向きを確かめ、奥までしっかり差し込む。このとき、コネクタ内のピンを曲げないように注意して差し込む
- 6 D-Sub コネクタのツマミを右に回し、コネクタを固定する
- 7 USB コネクタの向きを確かめ、ディスプレイ / リモコン受信ユニット専用コネクタに差し込む
- 8 オーディオケーブルをコネクタに差し込む
- 9 アース線を FG 端子に取り付けネジで接続する

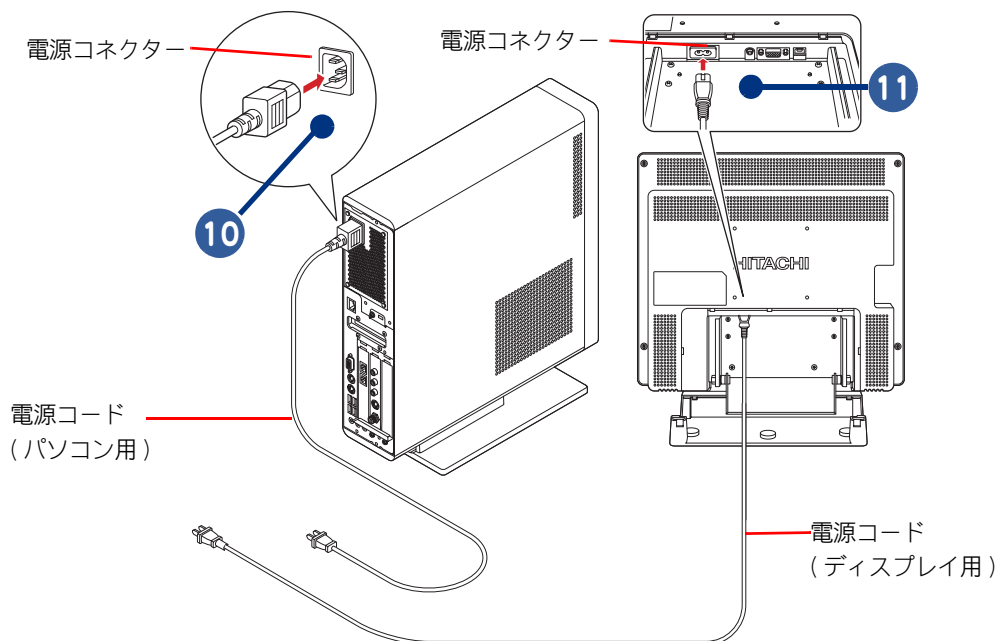


- 重要**
- ディスプレイからの USB ケーブルは、ディスプレイ / リモコン受信ユニット専用コネクタに必ず接続してください。
 - 縦置きで右上の USB コネクタは、ディスプレイ / リモコン受信ユニット専用コネクタです。ディスプレイ以外は接続しないでください。
 - 画面が表示されている状態で D-Sub コネクタを抜かないでください。再度、D-Sub コネクタを差し込んででも画面が表示されないことがあります。この場合は、パソコンを立ち上げ直す必要があります。
 - D-Sub ケーブルは、パソコンとディスプレイに直接接続し、延長ケーブルや各種アダプターは使用しないでください。使用すると画面が表示されないことがあります。
 - 各ケーブルやコードは、必ず付属のものをご使用ください。

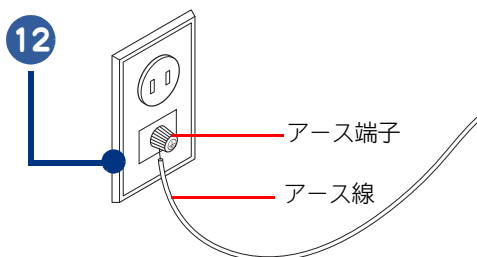
- ヒント**
- ディスプレイ / リモコン受信ユニット専用以外の USB コネクタは、USB 機器をどのコネクタに接続してもかまいません。また、正面の USB コネクタに接続してもかまいません。

10 電源コード(パソコン用)をパソコンの電源コネクタに差し込む

11 電源コード(ディスプレイ用)を液晶ディスプレイの電源コネクタに差し込む



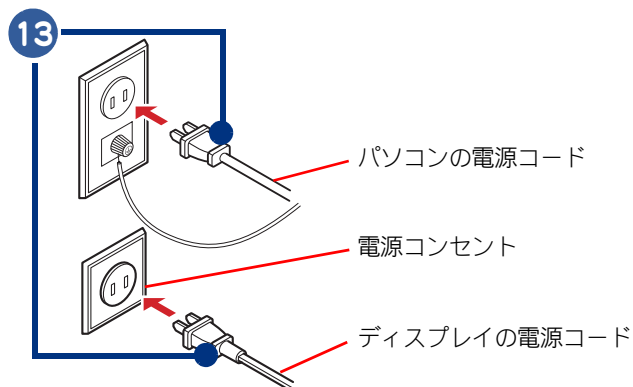
12 アース線をアース端子に接続する



警告

・アース線をアース端子に接続するとき、アース線先端の被服を外し、芯線をアース端子に接続してください。アース線先端の被服を外さず、被服の上からアース端子に接続すると、万一の漏電時に感電の原因になります。

13 パソコンと液晶ディスプレイの電源コードのプラグを、コンセントに差し込む



警告

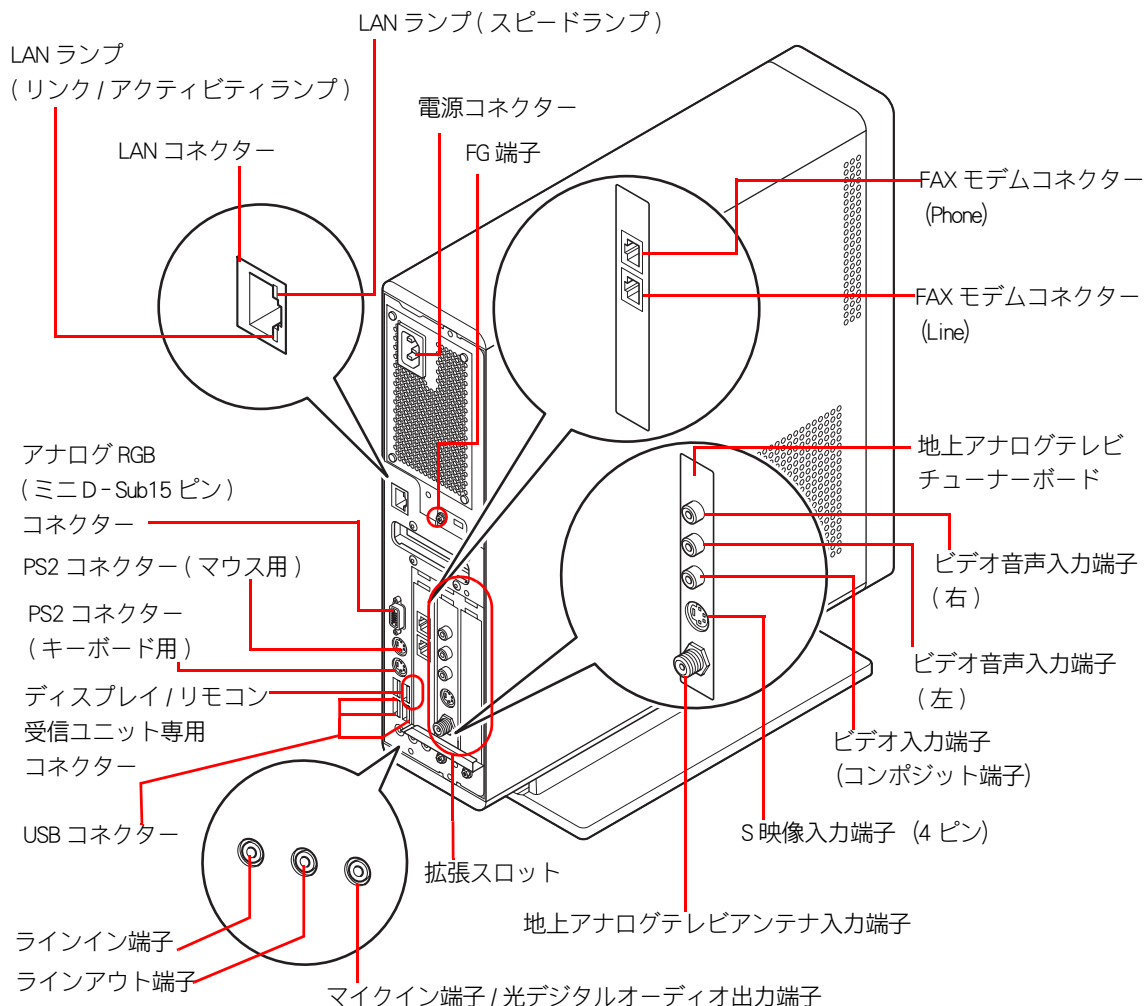
- ・タコ足配線について
同じコンセントに多数の機器を接続しないでください。コードやコンセントが過熱し、火災の原因になります。また、電力の使用量がオーバーとなり、ブレーカーが落ちてほかの機器にも影響を及ぼします。
- ・アース線について
感電防止のため、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと万一の漏電時に感電の原因となります。
 - ・接地作業は本体の電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
 - ・アース線は添付したもの以外は使用しないでください。
 - ・アース線は確実に接地がとれる箇所に接続してください。ガス管などの危険な箇所には絶対に接続しないでください。

重要

- 安全のためアース線がついています。電源コードのプラグをコンセントに差し込む前に必ずアース線を接続してください。

各部の名前を知っておこう

パソコン背面



LAN ランプ

ランプ	点灯状態	通信の状態
スピードランプ	赤色点灯	1000Mbps で接続中
	緑色点灯	100Mbps で接続中
	消灯	10Mbps で接続中
リンク/アクティビティランプ (オレンジ色)	点滅	データ送受信中
	点灯	データ送受信を行っていない
	消灯	リンクが確立されていない

光デジタルオーディオ機器を接続する

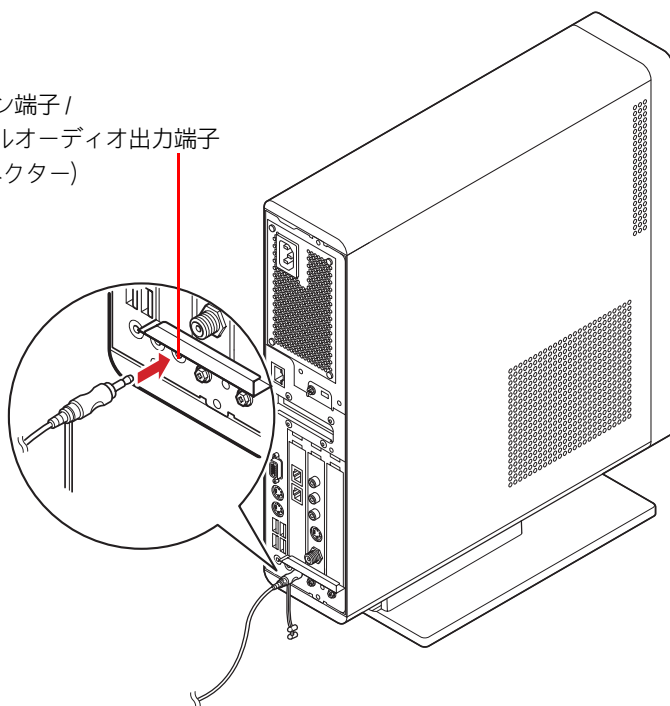
このパソコンには、光デジタル入力端子付きのサラウンドアンプなどを接続し、映画館で聴いているような音声で聴くことができます。

ここでは、接続方法の一例を説明します。詳しくは、光デジタルオーディオ機器のマニュアルをご参照ください。

1 光デジタルケーブル（市販品）をパソコン背面の光デジタルオーディオ出力端子に接続する

※ヒント ● 光デジタルケーブルのプラグには、角型と丸型があります。パソコン側のコネクタは、丸型です。接続する機器の形状に合わせてケーブルをご購入ください。

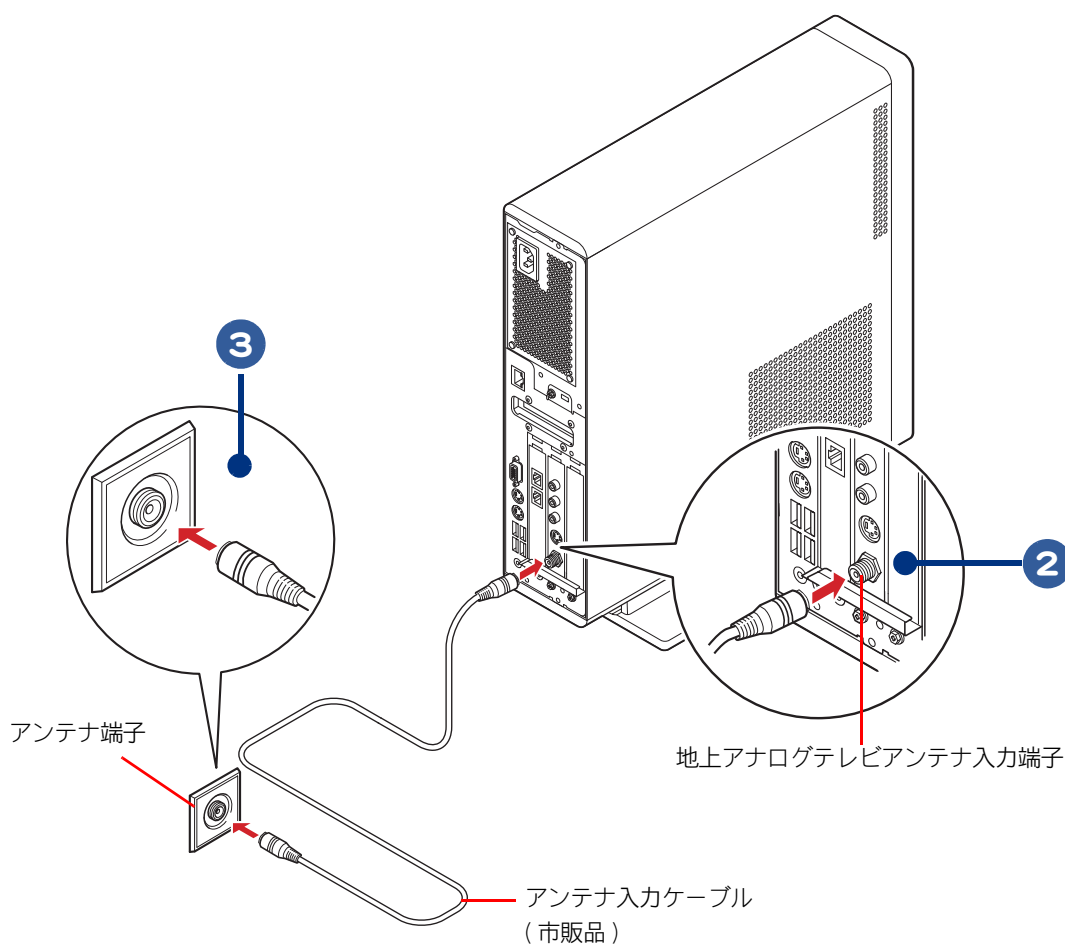
マイクイン端子 /
光デジタルオーディオ出力端子
(丸型コネクタ)



※ヒント ● 接続しても光デジタルオーディオ機器が動作しない場合は、パソコンおよび光デジタルオーディオ機器の電源をすべて切ってから接続し直し、光デジタルオーディオ機器、パソコンの順で電源を入れ直してください。
● 5.1ch サラウンドをお楽しみいただくには、5.1ch 対応の光デジタルオーディオ機器が必要です。また、DVD 再生ソフトの SPDIF 出力を ON にしてください。
● サンプリング周波数 48kHz に対応した、光デジタルオーディオ機器に接続できます。

パソコンにアンテナ線を接続する

- 1 電源ランプが消えていることを確認する
- 2 アンテナケーブルを地上アナログテレビアンテナ入力端子に差し込む
- 3 アンテナケーブルのもう一方をアンテナ端子に差し込む



パソコン仕様一覧

パソコンの仕様を紹介します。

製品名	Prius Air N	
形名	PCF-AR732B	
インストール OS 形式	Microsoft® Windows® XP Home Edition (With Service Pack2 セキュリティー強化機能対応)	
CPU (重要 1)	名称	インテル® HT Pentium® 4 プロセッサ 531
	動作周波数	3GHz
フロントサイド・バス	800MHz	
チップセット	インテル®915GV チップセット	
キャッシュ メモリー	1 次	12K μ OPs 実行トレース +16KB データ (CPU 内蔵)
	2 次	2MB (CPU 内蔵)
RAM	標準メモリー (ヒント 1)	512MB (256MB × 2) (DDR2 SDRAM PC2-4200)
	最大メモリー	2048MB
	ビデオメモリー	最大 128MB (メインメモリーと共有)
グラフィック (ヒント 2)	800 × 600 ドット時	65536 色 /1677 万色
	1024 × 768 ドット時	65536 色 /1677 万色
	1280 × 1024 ドット時	65536 色 /1677 万色
ディスプレイ	17 型液晶ディスプレイ	
HDD (ヒント 3)	約 250GB	
ドライブ	DVD スーパーマルチドライブ (DVD \pm R 2 層書き込み対応)	
カレンダー時計 (重要 2)	年月日、時分秒を刻時、刻時誤差 \pm 150 秒 / 月	
FAX データモデム (ヒント 4、5)	DATA 56Kbps、FAX 14.4Kbps	
テレビチューナー 地上アナログテレビチューナー カーボード	ハードウェア MPEG2 リアルタイムエンコーダ付 (VHF 1 ~ 12ch、UHF 13 ~ 62ch、CATV C13 ~ C63ch)	
コネクター	ラインイン	1 個 (ステレオミニジャック)
	ラインアウト	1 個 (ステレオミニジャック)
	マイクイン	1 個 (モノラルミニジャック)
	光デジタルオーディオ出力	1 個 (丸型、マイクインと兼用)
	ヘッドホン	1 個 (ステレオミニジャック)
	IEEE1394 S400(4 ピン)	1 個 (4 ピン)
	USB2.0	6 個 (パソコン前面 :2、パソコン背面 :4) 背面のうち 1 個はディスプレイ / リモコン受信ユニット専用
	LAN	1 個
	キーボード	1 個 (PS/2)
	マウス	1 個 (PS/2)
アナログ RGB(ミニ D-Sub15 ピン)	1 個	

製品名	Prius Air N	
形名	PCF-AR732B	
テレビチューナーボード (地上アナログテレビチューナー)	テレビアンテナ入力	1 個
	ビデオ音声入力	1 系統 (ピンジャック右左)
	ビデオ入力	S 映像端子 × 1 コンポジット端子 × 1
拡張スロット	スロット 1	PCI 規格 (ボードサイズ: 幅 107mm、奥行 175mm 以下)
	スロット 2 (重要 3)	PCI 規格 (ボードサイズ: 幅 107mm、奥行 175mm 以下)
	スロット 3 (重量 4)	PCI 規格 (ボードサイズ: 幅 107mm、奥行 120mm 以下)
PC カードスロット	TYPEII × 2 個または TYPEIII × 1 個 PC Card Standard 準拠、Card Bus 対応	
SD メモリーカードスロット / メモリースティックスロット (重要 5)	1 個 SD メモリーカードスロット : (著作権保護機能付き) メモリースティックスロット : (著作権保護機能なし、メモリースティック PRO 対応)	
電源	周波数	50/60Hz
	入力電圧	AC100V
消費電力	パソコン	約 93W (最大: 250W、スタンバイ時: 約 4.1W)
	ディスプレイ	約 33W (最大: 40W、スタンバイ時: 約 2W 以下 ただし、音声出力がないこと)
省エネ法に準 ずる表示	区分	P
	エネルギー消費効率 (ヒント 6)	0.00036
外形寸法	パソコン	94(W) × 377(D) × 369(H)mm (スタンド、突起部を除く)
	ディスプレイ	388(W) × 213(D) × 398(H)mm
質量	パソコン	約 8.7kg (スタンド含まず)
	ディスプレイ	約 6.2kg (ケーブル含まず)
周囲温度	動作時 (重要 6)	10 ~ 35 °C
	非動作時	- 10 ~ 43 °C
	保存および輸送時	- 10 ~ 60 °C
周囲湿度	動作時 (重要 6)	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	非動作時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	保存および輸送時	20 ~ 80%Rh (結露しないこと)
	最大湿球温度	25 °C

※ヒント 1 : [コントロールパネル] - [システム] アイコン - 「システムのプロパティ」でメモリー容量を確認できます。この容量は、実装容量からビデオメモリー容量分 (8 ~ 128MB 間で使用状況に合わせて変更) を引いた値です。

参照 → メモリーボードについて → 電子マニュアル 『パソコン応用』、「3章 パソコンを拡張する」、「メモリーボードを取り付ける」の「メモリーボードとメモリーボードソケットの組み合わせ方」

- Windows XP での表記は、65536 色は中 (16 ビット)、1677 万色は高 (24 ビット)・最高 (32 ビット) です。ただし、ディスプレイによっては最高 (32 ビット) に設定しても 1677 万色以下になります。
- 電源を切ると、HDD のヘッドは自動で待機領域に移動します。HDD の容量は、1GB=10⁹ バイトで計算した場合の数値を表しています。
- 最高速度は 56Kbps ですが、実回線では回線状態により 56Kbps では接続できないことがあります。PBX 内線を經由して接続する場合は、直接外線に接続する場合と比べて通信速度が下がります。

- 5 : 電気通信事業法による端末機器技術基準適合認定を受けた端末機器です。
認定形式 : PM560MS
認定番号 : A03-0524JP
- 6 : エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

重要

- 1 : [コントロールパネル] - [システム] アイコン - 「システムのプロパティ」で CPU 情報を確認できます。アプリケーションなどによって、正しく表示されない場合があります。BIOS メニューの [Standard CMOS Features] でご確認ください。
- 2 : 時計にはメインボードのリチウム電池を使っています。取り外さないでください。寿命で交換する場合は、お問い合わせ先にご連絡ください。刻時誤差は、メインボードのリアルタイムクロックの数値です。Windows の時間とずれることがあります。
- 3 : 地上アナログテレビチューナーボードを取り付け済みです。
- 4 : FAX モデムボードを取り付け済みです。
- 5 : マルチメディアカード (MMC) は使用できません。
メモリースティック Duo およびメモリースティック RPO デュオ、miniSD を使うには市販のアダプターが必要です。
SD メモリーカードとメモリースティックの同時使用はできません。
メモリースティックのマジックゲートには対応していません。
マジックゲートは、ソニーが開発した、著作権を保護する技術の総称です。
本機器では、2GB までのメモリースティックで動作確認を行っています。ただし、すべてのメモリースティックでの動作を保障するものではありません。
- 6 : 長時間の非動作時から動作させる場合は、周囲の温度や湿度になじむまで時間を置いてから起動してください。

ヒント

- K (大文字) と k (小文字) の記載の単位は、K (大文字) : 1024、k (小文字) : 1000 で換算しています。



メモ

他社製品の登録商標および商標についてのお知らせ

このマニュアルにおいて説明されている各ソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティー契約のもとに供給されています。ソフトウェアおよびマニュアルは、そのソフトウェアライセンス契約に基づき同意書記載の管理責任者の管理のもとでのみ使用することができます。

それ以外の場合は該当ソフトウェア供給会社の承諾なしに無断で使用することはできません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- ・ その他、各会社名、各製品名は、各社の商標または登録商標です。

お読み替えガイド

初 版 2005 年 9 月

無断転載を禁止します。

落丁・乱丁の場合はお取り替えいたします。

株式会社 日立製作所 インターネットプラットフォーム事業部

〒 244-0817 神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地

お問い合わせ先: 安心コールセンター 0120-8855-96

© Hitachi,Ltd.2005.All rights reserved.



このマニュアルは、再生紙を使用しています。